

貯蔵施設等設置 ( バルク貯槽 ) 許可申請書 ( 別紙 1 - 1 )

1 . バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

( ) は、完成検査時提出書類等

貯 蔵 能 力		Kg ( Kg × 基 )	
規則 54条	項 目	対 応 事 項	添付書類
2号イ 19-3イ	バルク貯槽の規格	地上式・地下埋設式 容積 _____ m <sup>3</sup> 材質 _____	製品仕様書及び明細図 ( 特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証 )
2号ロ	保 安 距 離	用途地域等 ( 工業専用地域・工業団地・その他の地域 ) 第 1 種保安物件までの距離 _____ m 第 2 種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 保安距離確保の代替措置 _____	設置場所付近配置図 保安距離を示す図面 ( 障壁の斜角距離含む。 ) 障壁又は構造壁等の 構造図 ( 施工時写真 )
2号ハ	火気を取り扱う施設の 距離及び液化石油ガスの 流動を防止する措置	火気を取り扱う施設距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 液化石油ガスの流動を防止する措置 _____	耐火性の壁類等の構造図 及び配置図
2号ニ	消火設備 ( 又は防消火 設備 ) の設置	消火器の個数 _____ 個 消火器の能力 A - ( ) B - ( ) 防火設備の種類 散水設備 消火栓	設置場所の位置図 ( 防火設備にあっては、 貯槽の外面からの距離を 示し、仕様書等を添付 ( 施工時写真 ) )
2号ホ 19-3ハ		元弁をみだりに操作できない措置 _____	
(1)	安 全 弁 及 び 安 全 弁 元 弁	所要吹出し量 $W_1 =$ _____ kg/h 規定吹出し量 $W_2 =$ _____ kg/h	吹出し量計算書 ( 試験合格書又は認定書 )
(2)	液 面 計	試験合格品・大臣認定品・その他 方式 :	( 試験合格書又は認定書 )
(3)	過 充 填 防 止 装 置	試験合格品・大臣認定品・その他	( 試験合格書又は認定書 )
(4)	カッ プ リン グ 用 液 流 出 防 止 装 置 付 き 液 取 入 弁	試験合格品 ・ 大臣認定品	( 試験合格書又は認定書 )
(5)	ガ ス 取 出 弁 及 び ガ ス 放 出 防 止 器 等	試験合格品 ・ 大臣認定品 ガ ス 放 出 防 止 器 ・ 緊 急 遮 断 装 置 ( 試 験 合 格 品 ・ 大 臣 認 定 品 ・ そ の 他 ・ 無 )	( 試験合格書又は認定書 )
(6)	液 取 出 弁 及 び ガ ス 放 出 防 止 器 等	試験合格品 ・ 大臣認定品 ガ ス 放 出 防 止 器 ・ 緊 急 遮 断 装 置 ( 試 験 合 格 品 ・ 大 臣 認 定 品 ・ そ の 他 ・ 無 )	( 試験合格書又は認定書 )
(7)	カッ プ リン グ 付 き 均 圧 弁	有 ( カッ プ リン グ 試 験 合 格 品 ・ 大 臣 認 定 品 ) ・ 無	( 試験合格書又は認定書 )
(8)	付 属 機 器 ( 1 ) ~ ( 7 ) の 保 護	プロテクター厚さ _____ mm	明細図、材質、地上貯槽 にあっては開口部の図面

貯蔵施設等設置 (バルク貯槽) 許可申請書 (別紙 1 - 2)

19-3/8	2号ホ			
	(9)	警 戒 標	表示内容： 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	表示位置図
	(10)	緊急連絡先の表示	表示内容：	表示位置図
	(11)	腐食防止措置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ $\mu\text{m}$ 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ $\mu\text{m}$ 3. 電気防しよく措置 (地下貯槽) 有 (マグネシウム _____ $\text{kg} \times$ 本)・無 防しよく電位測定端子・プロテクターとの 電氣的絶縁・配管との絶縁継手等	下地処理、塗装の仕様 (塗装記録)  電気防しよく措置仕様、 取付位置図 (施工時写真)
(12)	支柱又はサドル等の設置	支柱 ・ サドル ・ その他	貯槽明細図	
2号ホ 19-4	貯槽は漏洩がないこと			(漏えい試験結果)
2号ホ 19-5	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有 ・ 無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____		監視システム概要書(無 の場合は要件に適合する資料) (ガス漏れ検知器作動、 監視試験結果)
2号ホ 19-6	貯槽と調整器間の液状 液化石油ガスの滞留防止	措置方法： 単段減圧式をプロテクター内・ 二段減圧式一体型 を貯槽の直近・ 二段減圧式分離型の一次側をプロテクター内・ その他		図面
2号へ (地上貯槽)	19-3-2 (1)	基礎 (貯蔵能力 3 千キログラム未満)	地盤面からの高さ _____ $\text{cm}$	基礎図面 (施工時写真)
	19-3-2 (2)	車輛が接触しない措置	措置方法：	図面
	19-3-2 (3)	支柱又はサドル等の固定 (貯蔵能力 3 千キログラム未満)		基礎図面
	19-3-2 (4)	接地 (貯蔵能力 3 千キログラム未満)	接続線の断面積 _____ $\text{mm}^2$ 接続方法： 接地棒の直径 _____ $\text{mm}$ 長さ _____ $\text{mm}$	位置図
	19-3-2 (5)	安全弁放出管の設置	頂部からの高さ _____ $\text{cm}$	図面
2号ト 19-3-ホ (1)	頂部は地盤面下 30cm 以上 (貯蔵能力 3 千キログラム未満)	頂部埋設深さ _____ $\text{cm}$		施工図面 (施工時写真)

貯蔵施設等設置 ( バルク貯槽 ) 許可申請書 ( 別紙 1 - 3 )

2号ト 19-3-ホ 地下貯槽 (三千キログラム未満)		埋設場所に車輛	措置方法：	施工図面
	(2)	乗入不可の措置		埋設箇所の付近図
	(3)	浮き上がり防止措置	バルク貯槽空体総質量 _____ kg コンクリート板の質量 _____ kg バルク貯槽の全容積 _____ m <sup>3</sup> コンクリート板の容積 _____ m <sup>3</sup>	施工図面 《施工時写真》
	(4)	石塊等のない土砂の使用		《施工時写真》
	(5)	ガス検知用孔あき管設置	設置本数 _____ 本	施工図面《施工時写真》 孔あき管の仕様
	(6)	標識杭の設置		設置位置図《施工時写真》
	(7)	プロテクターのふた	不燃性断熱材の裏あて _____ mm	貯槽仕様図面
2号チ (三千キログラム以上バルク貯槽)	(1)	( ) 埋設の方法 ( ) 頂部は地盤面下 30cm 以上 ( ) 隣接するバルク貯槽 の相互間 1m 以上	貯槽室 ( 1.乾燥砂・2.水没・3.強制換気 ) その他 頂部埋設深さ _____ cm 相互間距離 _____ m	施工図面《施工時写真》 埋設箇所の付近図
	(2)	隣接するバルク貯槽等の 相互間距離	相互間距離 _____ m 水噴霧装置の有・無	配置図
	(3)	基礎・バルク貯槽の支柱		基礎図面《施工時写真》
	(4)	耐熱構造又は冷却装置	耐熱性構造 ・ 冷却装置	仕様、明細図《施工記録》
	(5)	静電気の除去措置	措置方法：	仕様、位置図《施工記録》
	(6)	地震の影響に対して安全 な構造		耐震設計の基準に対応する 資料、図面《施工記録》
3号	規則第 18 条第 4 ~ 7 号第 8 号の 2, 第 10 号, 第 19 ~ 21 号の基準	( 別 紙 3 )	基準に対応する資料 ( 気化 装置、調整器、バルブ、供 給管等の仕様、図面含む ) 《耐圧、気密、調整圧力等 試験成績書》《漏えい試験 報告書》《腐食防止施工写 真》	
4号	供給管の耐圧試験	イ 耐圧試験圧力(バルク貯槽と調整器の間) _____ MPa ロ 耐圧試験圧力(調整器 1 次側と 2 次側の間) _____ MPa	《耐圧試験報告書》	

貯蔵施設等設置 (バルク容器) 許可申請書 (別紙 2 - 1 )

1 . バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

( ) は、完成検査時提出書類等

貯蔵能力		Kg ( Kg × 基 )	
規則 54条	項 目	対 応 事 項	添付書類
1号 19-2I	遮 へ い 措 置	軽量な屋根・遮へい版	明細図
1号 19-2II	消 火 設 備 の 設 置	消火器の個数 _____ 個 消火器の能力 A - ( ) B - ( )	設置場所の位置図
1号 19-2ホ	イ	カップリング用液流出防止装置付き液取入バルブ	《試験合格書又は認定書等》
	ロ	ガス取出バルブ及びガス放出防止器等	《試験合格書又は認定書等》
	ハ	液取出バルブ及びガス放出防止器等	《試験合格書又は認定書等》
	ニ	カップリング付き均圧バルブ	《試験合格書又は認定書等》
	ホ	液 面 計	《試験合格書又は認定書等》
	ハ	過 充 填 防 止 装 置	《試験合格書又は認定書等》
	ト	付属機器イ-ハの保護	《試験合格書又は認定書等》
	チ	警 戒 標	《試験合格書又は認定書等》
	リ	緊急連絡先の表示	《試験合格書又は認定書等》
	ヌ	腐 食 防 止 措 置	《試験合格書又は認定書等》
ル	スカート又はサドル等の設置	《試験合格書又は認定書等》	

貯蔵施設等設置 (バルク容器) 許可申請書 (別紙 2 - 2 )

1号 19-2亦 19-1	ヲ	基礎	地盤面からの高さ _____ cm	基礎図面
	リ	車両が接触しない措置	措置方法 :	図面
	カ	安全弁放出管の設置		図面
1号 19-4		容器は漏洩がないこと		(漏えい試験結果)
1号 19-5		ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有 ・ 無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	監視システム概要書 (無の場合は要件に適合する資料) (ガス漏れ検知器 作動、監視試験結果)
1号 19-6		容器と調整器間の液状 液化石油ガスの滞留防止	単段減圧式をプロテクター内・ 二段減圧式 分離型の一次側をプロテクター内・ その他	
1号 53-1イ、ロ		保安距離	用途地域等(工業専用地域・工業団地・その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 障壁の有無 有 ・ 無	設置場所付近配置図 保安距離を示す図面 (斜角距離を含む。) 障壁の構造図 (施工時写真)
1号 53-1ハ		火気を取り扱う施設距離 及び液化石油ガスの流動 を防止する措置	火気を取り扱う施設距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 液化石油ガスの流動を防止する措置 _____	耐火性の壁類等の 構造図及び配置図
3号		規則第 18 条第 4 ~ 7 号第 8 号の 2, 第 1 0 号,第 19 ~ 21 号の基準	( 別 紙 3 )	基準に対応する資料 (気化装置、調整器、 バルブ、供給管等の 仕様、図面含む) 《耐圧、気密、調整 圧力等試験成績書》 《漏えい試験報告書》 《腐食防止施工写真》
4号		供給管の耐圧試験	イ 耐圧試験圧力(バルク容器と調整器の間) _____ MPa ロ 耐圧試験圧力(調整器1次側と2次側の間) _____ MPa	《耐圧試験報告書》

様式 2 3 . 3 - 3 ( バルク様式 3 )

貯蔵施設等設置 ( バルク供給 ) 許可申請書 ( 別紙 3 )

2 . 供給状況等

高圧部	主な管の材料			
中・低圧部	露出部	主な管の材料		
	埋設部	主な管の材料	深さ	m
部	ピット	有 ( 図面に明記すること。 ) ・ 無		
供給状況	調整器	自動切替式 ( 1 . 分離型・ 2 . 一体型 ) 二段減圧式 ( 1 . 分離型・ 2 . 一体型 ) 単段減圧式	能力	kg / h
	メーター	マイコン E B	S ・ S B ・ E その他 ( ) ,	号
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	有 ・ 無		
	対震自動ガス遮断装置	メーター内蔵 ・ 感震器連動		
	ガス漏えい検知装置	有 ( 1 . 流量検知式・ 2 . 圧力検知式・ 3 . 流量検知式圧力監視型 ) ・ 無		
	気化装置 ( 添付書類 )	有 ( 形式 _____ , 能力 _____ kg / h ) ・ 無 ( 認定書の写し )		

3 . 充てん設備に係る事項

項目	対応事項	添付書類
充てん事業者	名称 _____	( 充てん設備の許可証 又は届出受理書 )
充てん設備の種類	規則第 6 4 条第 1 項に基づく設備 ( 新 型 ) 規則第 6 4 条第 2 項に基づく設備 ( 従 来 型 )	
車 輛 登 録 番 号	登録番号 _____	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 _____ 番号 _____	
許可番号及び許可年月日	許可番号 _____ 許可年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
車 輛 停 車 位 置	第 1 種保安物件までの距離 _____ m 第 2 種保安物件までの距離 _____ m	停車位置付近の図面

4 . その他の添付書類 ( 以下の書類を添付すること )

1	現地への案内図 ( 最寄り駅から所在地までが確認できるもの )
2	供給管の配管図